



遠軽町図書館

42-3632

NO. 63
8月27日号

新着速報



『はじまりのスープ、夏ゼリー』

瀬尾 まいこ

- ・中森リリーは飲食店でバイトをして暮らしている。ある日、男にスープを作ったところ、泣かれてしまって…。

『君が描きかえた名探偵と青い春』

谷 夏読
たに なつとう

- ・新潟県の進学校に入学し生徒会に加わった刑部歩は、5月に転校してきた姫路叶音と出会う。

『囁く逆婿』

三津田 信三

- ・怪異民俗学研究室の瞳星愛は、大学の後輩・百古里民恵の代理として彼女の姉・美々子の結婚式に出席することに。

『燃える夜空に星ちりばめ』

実石 沙枝子

- ・第四次世界大戦を経て、世界は大きな変革を余儀なくされ、人々は文字を書き残していく自由と思考を奪われ…。

『犬のうんちとわかりあう』

三好 愛

- ・子どもと、他人と、ものと、自分自身と。日常の見慣れた関係が、ちょっと動き出す…。エッセイ集。

『本を読めなくなった人たち』

稲田 豊史

- ・「本を読めなくなった人たち」はいま何を考え、どんな本音を抱いているのか。読書の未来を考える。

『セルフスターター』

有蘭 光代

- ・高卒女性自衛官から参謀にまでなった著者が、自ら動いて道を拓く「自分指令」という生き方について解説する。

『それはどこでも起こり得る』

ブレイディみかこ

- ・個は責任を問われ、為政者は説明責任を逃れる「責任格差」。人間と社会の本質に迫る。

『不夜脳』

東島 威史
ひがしじま たけふみ

- ・脳の回復には、睡眠より「刺激」!生活の質を上げ、仕事のパフォーマンスを上げる脳の本当の休息方法を紹介。

『おつむの良い子は長居しない』

高嶋 政伸

- ・「怪演」を生む役作り、ジョン・レノンと泳いだ夏…。俳優・高嶋政伸が60年の人生名場面と名言を綴る。